

2008年CFAジャパンリジョンクラブミーティング議事録(要約)

2008年7月19日 パンパシフィックホテル会議室

参加クラブ名(41 委任状含む)

MT.FUJI NORTHERN CC, CAMELOT CAT KINGDOM
HAPPY ISLAND CC, NEKOGATARI CC, OCICAT
TRUST JAPAN, RUBAN D'OR CHAT C, LUCKY CC,
TOKYO A & A CC, CAT WALKERS JAPAN, SOMALI
CAT FAMILY, AMERICAN SHORTHAIR CLUB JAPAN,
JAPAN APHRODITE CC, TOKYO FELINE F, TOKYO
CF, CATS EYE F, JAPAN CF, FRIENDLY
INTERNATIONAL, AMERIDREAM CC, ROYAL
ALLBREED CC, JAPAN SHADED F, YOKOHAMA BAY
CF, EXOTIC CC JAPAN, JAPAN LIBERTY CC,
PORTLAND CC, CAT COMMUNICATION PROCESS,
ABU SIMBEL CC, REX ORIENTAL CC, SUN PACIFIC
CC, ANCIENT CAPITAL CAT SOCIETY, SUN KYOTO
CC, OSAKA PHILO CAT SOCIETY, NISHI NIHON CC,
SAKURA CC, A 1 CAT ACADEMY, GANBA KOBE CC,
SMILE CC, VERTU BLANC CC, JAPAN TONKINIESE
CC, KYOTO SKYLARK CC, NANTAN CATDOM C

新本ひ:(資格審査)リジョン規約によるリジョンクラブミーティング有資格クラブ数は43, 過半数は22です。現在, 委任状を含めた参加クラブ数は28ですので, 本会議は成立しております。(最終的に参加クラブ数は, 41となった)

佐藤や:議長を選出したいと思う。ディレクターは執行部として報告事項があるので, 新井さんに願いたい。

新井:1号議案として, 佐藤ディレクターから, 昨年度の事業報告をお願いします。

■第1号議案 事業報告

佐藤や:2007年7月クラブミーティング, リジョナルアワード(新横浜)。8月 前会計担当者による横領発覚。9月 クラブミーティングで事情説明(東京)。刑事告訴したが対応が遅い。CFA本部に対してプロテスト。2008年1月 リジョナルショー(浜松町館) 8リング2dayショー, 4人の外国人ジャッジ エントリー243頭, 見学者のべ約500人超。2月ボードミーティングでプロテストコミッティーからの有罪勧告が採択, 当人はヒアリングを要求。3月クラブミーティング。4月リジョナルショー(台東館), 1day6リング エントリー140頭, 見学者約300人, 5月ショールールとスタンダード日本語改訂版出, クラークテスト, クラークマニュアル, ガイドラインと手順, マスタークラークマニュアルの翻訳。6月 ボード報告。黒川さんはヒアリング要求したが出席せず, 証人として小島さんが出席。黒川さんは日本からの電話でヒア

リング。

■緊急動議 守谷:リジョン執行部が録音するのはよいが他の方は録音を遠慮してほしい。

小島た:議事録が必ずしも言った通りでない場合もあるので録音をしてもかまわないと思う。

新井:録らないほうがいいという人多数なので, 録音はしないように。

■事業報告続き(プロテスト問題) 佐藤や:ヒアリングの際, 4時にボードメンバーが揃って電話でヒアリングがはじまる, というときに電話をかけて来なかった, (その場所に証人として来ていた)小島さんが(黒川さんに)電話をするように連絡した。

小島ま:私もよくわからない, ホテルにいたらフレッド(ジャコバーガー, CFA法律顧問)から電話があり出て欲しい, という。私は証人に申請した覚えもない。後で確認したら, 黒川さんが(小島氏に)出て欲しいというようなことがあって, フレッドから要請があったようだが, 勘違いなさらないように。急遽通訳をみつけて行った。

新井:(小島さんが証人として出席した事情はともかく)本件はすでに決着がついているので, 議論はこれまでとしたい。

■第2号議案 会計報告

北尾:お手元の会計報告をみて欲しい。収支報告書は6月末までのもので, CFA本部に送ったものと同じもの。貸借対照表には(CFA本部の方針なので)今回のアワードの収入(参加費等)と未払い費用も計上してある。(詳細説明省略)雑損益は昨年報告の通り, 横領分の残り。昨年のアワード収支報告については前会計担当による関係書類が失われているので, 一部は推計で計算したが, ほぼ間違いないだろう。赤字分はリジョンから充当。リジョナルショーは会場設営や食事もリジョンスタッフの持ち出しにして謝金等は一切出せなかった。小島さんの言われるような会計のルールに基づいて書式だが, 素人にはかえって見づらいかもしれない。

■会計監査報告 菰田:膨大な領収証や出金伝票をチェックした。黒川さんの関係したアワード分は10項目以上支払いがあったが, きっちりできています。1月と4月のリジョナルショー分は間違いがない。去年のアワードは推計で当てはめていった。金額の異なるものもあり, 後から請求された分とつきあわせて, この内容を信じていただいてもかまわないと思う。

高野や:通訳とディレクター経費がまとめて書いてあるのか。ディレクター経費は, 今まで25万円であった, それより増えているので今のディレクターは幸せである。これ

だけ使えるのだから。

小島ま:残高証明がないが。

(発言者不明):監査で確認しているので必要ない。

高野け:備品目録についていつの時点でのものか、かつての備品から変わっている。

小泉:前に報告したように、パソコンやプロジェクトは廃棄した。

若松:備品は企業なら減価償却期間を設定。何年使ったら買い換え次期が来るというのをはっきりしたらよい。

小泉:これ以外にリパティで預かっている古いリジョン備品がある。

新井,北尾:小泉さんに処分してもらい、廃棄にかかる費用はリジョンで持つ。

小島ま:リジョン会計報告は全クラブに送って欲しい。

小島た:送らないといつまでも払わないクラブができてしまう。以前のミーティングで送ることになったと思う。

新井:今回の報告を請求書と一緒に送ってもらい。それでは事業報告と会計報告を承認いただくことで(拍手多数)、そのように承認されました。

若松:郵送しても届かないクラブがあると聞いている。普通郵便ではなく確実に届く方法をお願いしたい。

田村:残高証明は監査が終わっているので必要ないではないか。

空野:会計監査が監査結果に責任を持つということであるので、必要なからう。

北尾:出席の方にはここにあるのでみて欲しい。

新井:会計の良識におまかせしましょう。

■第3号議案 事業計画 予算案

佐藤や:本日のクラブミーティングと、リジョナルアワード、8月16日(土)PIOでクレーキングスクール予定、2009年1月リジョナルショー(横浜)8リング2dayショー、ショールールとスタンダード、日本語改訂版出版、4月あるいは5月に1dayのリジョナルショー日程未定、どこのショーでも出陳が減っている。新人出陳者を連れてきた人には割引など考えたい。CFAのグッズ販売も。

北尾:予算案、今回のアワードはとんとんになるようにしたい。イベントごとの予算を表の通りあげている。1月のリジョンショーは13,000円の出陳料を予定。航空運賃がどんどんあがっている、実績と差異が出る可能性がある。収入金額の3%程度をWinn財団に寄付できたら。

新井:承認いただけるか(拍手)承認されました。

■第4号議案 リジョン規約廃止案

小島ま:罰則規定のない規約を作っても意味がないので廃止を提案する。今までのようにみんなで相談してやっていけば十分。横領事件にしても回収は困難。

佐藤や:年会費を払っているクラブとそうでないクラブが同じ扱いではおかしい、というところからこの規約がはじまっている。経費にしてもきちんと決めておきたかった。ディレクターによってはイベントで経費をもらっていた事もある。このあたりをただしたかった。

新本み:毎回会議のたびに蒸しかえして議論が繰り返される。罰則がなくても、きちんとしておいたほうがいい。自分が翻訳をした際、要求したわけではないが謝金をもらった。いけないことのように非難されたくない。

佐藤や:今回の会計にしても連日夜中の11、12時まで打ち合わせにかかり、みんな持ち出しであった。この1年はそうやってできたが、これからはそうはいかない。謝金等についても決めていければと思う。

空野:非営利団体であるので、金銭的なことを決めていくとエスカレートしていくおそれもある。予算書できちんとやっていって欲しい。倫理的規制というものが規約より上位にあることを理解して欲しい。モラルの高い人間性の高い行動をお願いしたい。

小島ま:営利目的の団体ではない、働きに報酬を出す、必要経費であっても、その点はどうか。

高野や:規約を作ること自体には反対しないが、細かすぎてはどうかと思う。

新井:改訂できるのだからいい方向に変えることもできる。廃止に賛成の方(少数)、反対の方(多数)。廃止案は否決されました。

■第4-2号議案

新本:提案者:CFAジャパンリジョン リジョン規約第7条改訂 年会費の納入期限を8月31日から9月末日に変更。特にディレクター交替年において、新しいリジョン会計口座開設等で時間がかかるが見込まれるため、期限を1ヶ月延長する。

新井:賛成多数で可決されました。

■第5号議案 リジョン会計規則案

新本:前回3月にリジョン規約に盛り込もうとしたが、時間切れになった。あまり細かいのもいかがかと考え、おおまかなものにした。事前にお配りしたものに整合性がなかったので、11条と12条は原文を修正して提案したい。会計書類については、代々ディレクターが受けつけて行くということである。今のところ、7年前までの通帳はあるが、領収証等の書類は失われている。

守谷:通帳はわかる範囲は警察に行っている、オープンにされたほうが信頼できるのでは。これからでなく、今わかるところから、すべて保管ということ。

菰田:通帳は過去のものからあるが、領収書はない。

守谷:そのときのディレクターに聞けばわかるであろう。

若松:ディレクター経費については会計にこれくらい使う、という申し立てをしなくてもいいのか。ディレクターでも湯水のごとくは使えない。事前申請が必要である。

小泉:25万円の範囲でなんとかやっていたのだが。

若松:リジョンのために動いているからといってむやみやたらに使っていいのか、という問題がある。今は25万円という上限が特に設けられていないが、青天井では困る。字句の修正はできないか。リジョン経費、ということで。ディレクターもリジョンスタッフの一部であるから、仮払い伝票を書いてもらう。

北尾:書面でというのは会計担当としては難しい。
小島:領収書と明細書でいいだろう。
新本み:100円200円のものに事前承認はいらないだろう。高額の支出には必要であろう。
桜井じ(リジョン会計責任者):遅れて申し訳ない。会計要領については、今後可能な肉付けして行って、いいものにしてもらいたい。
新井:賛成の方(拍手多数)可決しました。
■第6号議案 クラブ提案事項(サンフラワーキャットクラブ)
高野や:ディレクター選挙で負けたが自分の力のなさを感じた。立て直してたいへんだと思うが、リジョン一丸となって発展するように望んでいる。
【1】サンフラワーキャットクラブ
ディレクターはリジョン会計、その他活動に関して指導監督するが、同時に最終責任者として責任を負う。
小泉:ごもつともなことであるが、規約に入れるわけではないのなら、みんなで再認識するという事だ。
新井:それでは可決ということだ。
【2】サンフラワーキャットクラブ
会計、予備リジョン備品に関しては、正しい決算および備品をCFA本部およびリジョン関係者に公開する。
新井:さきに議論した内容であるので、次に進みます。
【3】サンフラワーキャットクラブ
会計は会計担当が通帳を持ち、印鑑はディレクターが持つ、なおカード類は作らない。
北尾:現在リジョンは法人口座になっているので、通帳がないと出金できない。すべてが通帳に記入される。
高野け:ディレクターや会計がお金を勝手に出し入れできないシステムになっているのならOKだ。
【4】サンフラワーキャットクラブ
CFA憲章を遵守する
空野:遵守するのが常識であるという簡単に片付けられない。CFA憲章とはどういうことであるか、理解されていない。実践できる理解が必要。勉強会をしてほしい。
新井:憲章の勉強会をしては。
空野:絵に描いた餅ではいけない、勉強して、共有しなければならない。
新井:勉強の機会を作りましょう(拍手)。
【5】サンフラワーキャットクラブ
リジョン会議などの議長はディレクターが務める。
佐藤や:議長をやると、(ディレクターとして)話すことができない。
桜井じ:一般に利害関係人は議長になれない。佐藤さんは(議題を提案している関係上)利害関係人にあたる。
新井:理解いただけただけということで次に。
【6】サンフラワーキャットクラブ
全ての原点を再確認し、動物愛護の精神とフェアプレイ精神の啓蒙を図る。
高野や:再認識していただきたい。

高野け:シヨールールなどにフェアプレイと書かれていることは日本からの提案である。
新井:規約の頭に入れるなら、来年提案していただければよいが、賛成の人(少数)、反対の人(多数)、これは常識的なことなので、特段リジョン規約に入れる必要はないということに。守ってない、という事実があればそれを言うて欲しい。
若松:憲章でうたわれていることなのでリジョン規約に入ると規約が混乱するだろう。
■緊急動議 (リジョン規約第7条および第10条関係)
空野:今回クラブ申請が通って感謝している。前回(3月)の時もそうだったが、CFA本部へも払っているが、リジョンにも年末に払った。それでも議決権がないのか。
佐藤:6月に通ったクラブ(はリジョンの7月からの年度から参加の方針)、10月に通ったクラブ、2月に通ったクラブ、と検討し、2月のクラブが1万円年会費払い、7月にまた払うでは申し訳ない、ということで検討している。
空野:(新しいクラブに関しては)年会費を払ったら、(クラブミーティング参加の)権利が発生するという事だ。
新井:賛成多数なので、新規クラブについては年会費を払った時点でということに規約を改定。
■リジョン役員紹介
佐藤や:ディレクター:佐藤弥生、セクレタリー:新本洋士、会計:桜井順子、北尾智子、武藤桂子、会計監査:阿部博子、菰田尚子、スタッフについては後日Webサイトでお知らせする。
(以下省略)

ボードミーティング報告

2008年6月 ケンタッキー州ルイビル
CFAジャパンリジョンディレクター 佐藤弥生

■本部会計報告

リター登録、個体登録ともに減少。他も含めた通常収入は前年比3.2%減。イヤーズブックは収入は前年同額程度であったが支出が減少した(ただしまだ赤字)。アルマナックは収入、支出ともに減少。印刷媒体での提供が終了し、電子媒体のもののみとなった。全体で約8万8千ドルの赤字であった。

■リジョン月例会計報告について

本年より、リジョンの財務内容について、毎月CFA本部へ詳しい会計報告をすることとなった。CFAジャパンリジョンでは2008年4月より報告を行っている。CFA本部の新しい会計士によって準備された細かい費目にドル建てで入力しなければならない。

また、領収証等の書類は原本の提出が求められる。すべての口座の月末残高報告が必須要件となり、今回のアワードについても、6月末までの収入を計上しなくてはならなかった(これまではイベントの決算は別会計で処理していたが、今後は同時に報告する必要がある)。

4月、5月の提出状況の報告によると、提出しているリジョンは、第1、2、3、7、8リジョンであり、第4、5、6リジョンはこの制度に対応する準備ができていないようである。

■CFA-アイムスチャンピオンシップ CICC

他のイベントがマジソンスクエアガーデンの会場で開催されるため、当初予定の10月第2週から第3週に変更になった。これにともない、ジャッジの変更が生じた。ジャッジは Gene Darrah, Diana Doenberg, Walter Hutzler, David Mare, Barbara Sumner, Liz Watson, Darrell Newkirk (BOB)。

■クラブ申請

日本からのクラブ申請：前回審議延期とされたクラブと、新規に申請のあった2クラブ、いずれも認可された。

Nantan Catdom Club (Taka Nishimura, Kyoto)
Chiba Marine Cat Club (Mika Sonoda, Chiba)
Something Hearts Cat Fanciers (Rika Inatomi, Tokyo)

■出版

2008年のイヤーズブックは3月に発送した。前年より1ヶ月早くあがった。2009年は同じ価格で人件費を削減する予定。CFAの公式記録としてのイヤーズブックの価値は、印刷媒体としてのアルマナックがなくなった現在、非常に重要である。CFAイヤーズブックに広告を掲載すると、CFAオンラインアルマナックから広告主のWebサイトへの1年間の無料バナー広告が受けられる。この締め切りは8月25日。オンラインアルマナックの購読者は現在1,392人であり、2月から109人増加した。

■科学委員会

CFAのDNAプロジェクトは2007年12月に立ち上げられた。現在のDNAマイクロアレイに、大リユートカラー、ブックカラー、被毛の長さ、性別、B型の血液型、についての5つの試験項目を加えた。CatGenesのWebサイトを参考にされたい。残念ながら検査が遅れている場合がある。これは製造上のプローブの不具合によるもので、この場合には、個別テストを行うからである。

しかし、このプログラムがはじまってわずか半年とは思えない(ほど素晴らしい成果である)。このようなコストで他の研究機関は遺伝子検査を提供することはできない。39ドルで実施している。遺伝子検査を実施した猫には将来、登録番号の末尾に-Dを追記することを提案したい。

我々のアレイに搭載できる新しい遺伝子検査を探索すること。ブリードごとにどの試験が重要か調べること。新たなアレイについて、現在のアレイとは別に研究すること。CFAのマイクロチッププログラムとの連携。

■プロテスト案件について

CFAジャパンリジョン前会計担当者による横領案件は、2月のボードミーティングにおいて、プロテスト委員会の勧告通り、ボードにおいてCFAサービスの永久停止とリジョンへの返金命令が可決された。

このことは3月のリジョン臨時クラブミーティング(東京)で報告した。その後、前会計担当者は最終アピールのための公聴会を要求した。

しかし、公聴会直前になって仕事の都合で出席できない、別の証人(日本人)が出席する、との連絡があった。このため、ヒアリングは電話で行うこととされた。ヒアリング当日、前会計担当者が指名した証人がジャパンリジョンの会計および監査システムの不備等について意見を述べはじめ、CFA法律顧問より横領案件の事実認定に関係ないと指摘され、陳述は中断された。

前会計担当者は予定時刻から遅れて電話をかけてきたので、ようやく電話による公聴会がはじまったが、横領事実認定と関係のないリジョン批判を始めたので、議長から事実認定を求められ、横領金額を返還してないことを当人が認めた。

証人は退場し、ボードメンバーの全員一致により、前会計担当に対する処罰が確定し、CFAからの永久追放となった。

■リジョンディレクター選挙結果

36票:20票(棄権1)で佐藤弥生がジャパンリジョンのディレクターに再選された。

追記>>CFAボードミーティングの速報および議事録はCFA本部Webサイトに掲載されます。

<http://www.cfa.org/org/minutes/index.html>